



2026 年2月6日

各 位

会 社 名 ケル株式会社
代表者名 代表取締役社長 春日 明
(コード番号:6919 東証スタンダード)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 牧田 直規
(TEL 042-374-5810)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月9日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,000	百万円 600	百万円 630	百万円 430	円 銭 59.15
今回発表予想(B)	12,500	320	450	310	42.61
増減額(B-A)	+500	△280	△180	△120	
増減率(%)	+4.2	△46.7	△28.6	△27.9	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	11,871	596	585	401	55.23

修正の理由

当社グループは、車載機器市場における電動化の進展を背景として需要拡大が継続しており、今後も堅調な受注が見込まれ、工業機器市場におきましては、在庫調整の影響が依然として継続しているものの、解消に向けた動きが徐々に見られており、市場環境の改善に伴う受注回復を想定しております。

このような状況のもと、工業機器向けコネクタの受注増加に加え、遊技機器向けコネクタの受注が堅調に推移いたしました。さらに、電力および鉄道関連向けの特注ラックの受注も順調であり、これらの要因により売上高は当初の業績予想を上回る見込みとなりました。

一方で、製造工程の見直しを進めてまいりましたが、金などの原材料価格の高騰により売上原価が上昇いたしました。加えて、2025年3月に設立した中国工場につきましては、量産開始が当初計画より遅延したことから、想定していたほどの生産効率の向上には至らず、売上総利益率が低下いたしました。また、中国工場設立に伴う設備投資に加え、国内工場の設備更新・合理化推進により減価償却費が増加したほか、海外ビジネス拡大に向けた販売活動の強化に伴い販売費及び一般管理費も増加いたしました。

以上の結果、増収となる見込みではあるものの、増収効果は限定的で、前年同期比では減益となる見通しであります。

※上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。

以 上